



尾道水道が中世以来、850年間紡いできた歴史が、三井住友銀行東館アース・ガーデンで紐解かれる。

尾道



日本遺産のまち尾道

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

三井住友銀行東館ライジング・スクエア 1F アース・ガーデン

東京都千代田区丸の内 1-3-2 [地下鉄 大手町駅下車 C14 出口]



日本遺産

2016年9月26日[月]ー10月14日[金] 会期中無休
開場時間 9:00ー20:00 ※土日・祝日は18:00まで

入場
無料

「日本遺産 (Japan Heritage)」は、地域の歴史の魅力や特色を通して我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。尾道市は、認定初年度となる昨年に、「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」で認定を受けました。

展示会では、ストーリーの内容を、映像・写真・絵画などでご覧いただけます。「尾道[歴史]散歩」のひと時をおたのしみください。

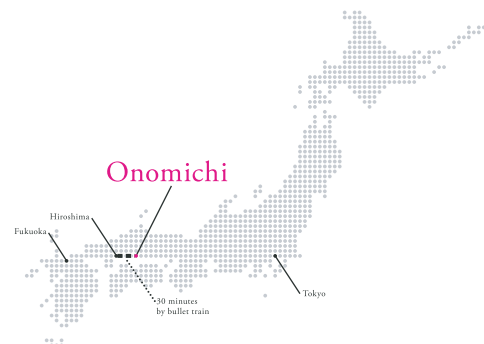
Japan Heritage Onomichi Miniature garden city from the Middle Ages Onomichi waterworks spun

日本遺産尾道市公式WEBサイト nihonisan-onomichi.jp



主催 / 尾道市歴史文化まちづくり推進協議会、尾道市 協力 / 日本通運株式会社、株式会社みつま工房、アンデックス株式会社 企画協力 / 村上アーカイブス 撮影 / 村上宏治

お問い合わせ 尾道市歴史文化まちづくり推進協議会【事務局: 尾道市企画財務部文化振興課】 広島県尾道市久保1丁目15-1【尾道市役所】 TEL 0848-20-7492 Eメール bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp





三井住友銀行東館アース・ガーデン 日本遺産イベント

尾道水道が中世以来、850年間紡いできた歴史が、アース・ガーデンで紐解かれる。

尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

このたび「日本遺産のまち尾道 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」展を、三井住友銀行東館ライジング・スクエア1階アース・ガーデンで開催します。

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。広島県尾道市は、この制度がはじまった昨年度にストーリータイトル「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」で第1号の認定を受けました。

尾道水道が港として公認されたのは、嘉応元年(1169)に大田荘園(現在の広島県世羅町)の年貢輸送の拠点となる倉敷地として認可されてからです。その後、室町時代の日明交易、江戸時代の北前船寄港、明治以降の住友別子銅山(愛媛県新居浜市)との中継港など、瀬戸内海航路の主要港として経済発展を遂げてきました。その発展を支えたのが尾道の豪商たちでした。経済力を高めた豪商たちは、文化面でも大きな影響を發揮します。一族の繁栄を發願するために寺社建立を競い合うように寄進して仏教美術が開花し、また、多くの芸術家や知識人(文人墨客)たちが集い交わるサロンを形成して商人文化が育まれました。明治以降も、西洋文化の流入によって都市の近代化が図られ西洋絵画や映画、写真など新しい文化が根付き現代に至っています。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

本展は、ストーリータイトルの「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」を語るうえで欠かせない有形、無形の日本遺産構成文化財群を、中世、近世、近代のゾーンに分けて映像と写真を中心に紹介します。

あわせて、近世尾道の絵画史を代表する平田玉蘊(ひらたぎょくおん)、近代では明治以降に経済の近代化に寄与した住友家との関わりをご覧ください。より深く日本遺産のまち尾道の歴史に触れていただけます。

さらには、サイクリングロードを併設整備した瀬戸内海の芸予諸島を繋ぐ「しまなみ海道(西瀬戸自動車道)」の風景を交えながら、古き良き歴史の“風”から今の尾道の新しい“風”を感じて頂けたら幸いです。

ほんのひと時、アース・ガーデンで尾道の歴史散歩をお楽しみください。



〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-3-2
TEL:03-6706-9020 FAX:03-3211-0193
□ 地下鉄「大手町駅」C14出口直結

観覧会のお問い合わせ先

尾道市歴史文化まちづくり推進協議会(事務局:尾道市企画財務部文化振興課)

〒722-8501 広島県尾道市久保1丁目15-1 TEL:0848-20-7492 FAX:0848-37-2740